

今週の株式相場見通し

- * 日経平均 22,600~23,800円 TOPIX 1,570~1,650
- * 期待材料 次期政権下での公共投資拡大と量的緩和継続 各国の政策協調 5G化の進展
- * 不安材料 米中対立 新型コロナの拡大 食糧問題 地政学的リスク 信用リスク

14日に投開票される自民党総裁選では、菅官房長官の勝利が決定的な状況だ。菅氏は最大派閥の細田派に加えて、麻生派、二階派、竹下派、石原派、一部の無派閥議員の支持を受けており、仮に石破元幹事長が都道府県連票を全て取ったとしても菅氏勝利は揺るがない状況である。菅政権下では、基本的には安倍政権における政策が踏襲されるものと見込まれているが、従来以上に脱東京一極集中、地方重視の政策がとられる可能性が高いものと思われる。今後は、菅氏の総裁選立候補及び、勝利への流れを決定づけた二階党幹事長の意向が一段と政策に反映されることで、二階氏がライフワークとする国土強靱化策が重視される可能性が高い。また、来年の自民党総裁選では党員投票も含まれることから、石破氏の支持地盤を切り崩し、党員票の取り込みを図るためにも、公共投資を中心に据えた地方重視策は、菅氏を推す党主流派の総意となろう。そもそも、菅氏は07年の総務相時代に役所の強硬な反対を押し切ってふるさと納税制度を創設した当人でもあり、地方への思い入れは熱い。菅政権下では公共投資関連企業が注目されると共に、東京の不動産関連企業への懸念が高まる可能性があり得る。さらに、菅氏、二階氏共に積極的な姿勢を示してきた統合型リゾートが注目を集める可能性もありそうだ。他には、甘利明党税調会長の処遇にも注目したい。アベノミクス3本の矢の一つである成長戦略は、甘利氏が建設会社からの金銭授受問題によって16年に経済再生相を辞任した辺りから、実行、発信とも失速していった感が強い。甘利氏は6月に発足した自民党の新国際秩序戦略本部長を務めており、今後の世界ではブレトンウッズ体制と全く異なる世界経済秩序が生まれるとの認識の下で、日本として存在感を示すために科学技術とイノベーション力を高める必要性を指摘している。甘利氏が経済関係の重要閣僚で処遇された場合には、成長戦略、中でもハイテク関連企業への注目も高まりそうだ。(9月3日現在、多功 毅)

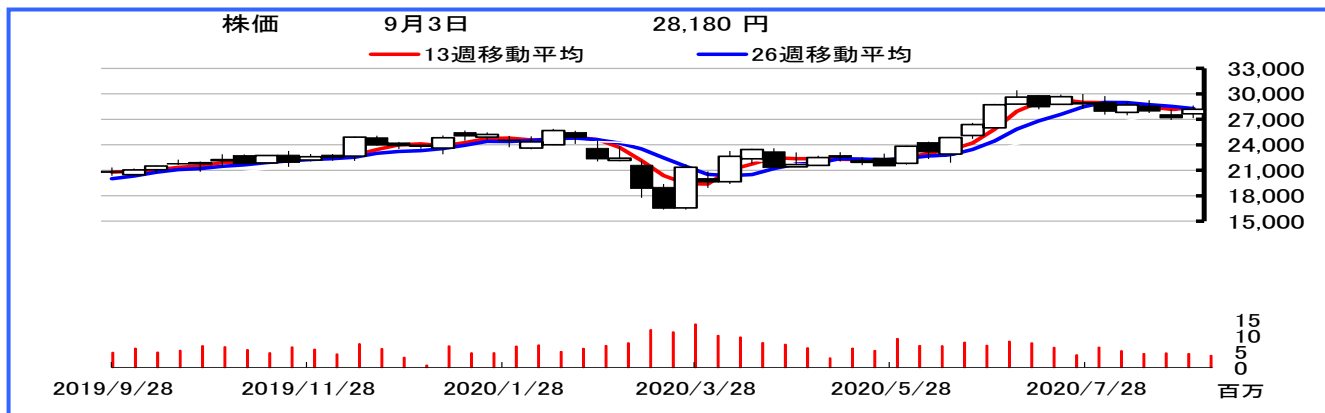
今週の予定

	国内	海外
9/7 (月)	8月外貨準備高(8:50) 7月景気動向指数(14:00) ファーマーズ(2929)本決算	[中]8月貿易収支 [中]中国国際工作機械工具見本市(~11日) [米]休場(レーバーデー)
8(火)	8月景気ウォッチャー調査 二階氏が自民党幹事長在職最長に	[欧]ユーロ圏4-6月期GDP確定値(18:00) 国際識字デー
9(水)	8月マネーストック(8:50) 19年の台風15号から1年	[中]8月消費者物価指数(10:30) [北朝鮮]建国記念日
10(木)	7月機械受注(8:50) 神戸物産(3038)3Q決算 立憲民主と国民民主の合流新党の代表選	[欧]ECB定例理事会 [マレーシア]中央銀行 政策金利発表 [米]マイクロソフトが新型スマホを発売
11(金)	メジャーSQ 鳥貴族(3193)本決算	[米]8月消費者物価指数(21:30) [米]アメリカ同時多発テロ事件から19年
12(土)	国民体育大会会期前競技(~20日)	[英]London Design Festival 2020(~20日)
13(日)	大相撲9月場所(~27日)	[露]統一地方選

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)
本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

今週の参考銘柄

東京エレクトロン (8035) 東証1部



	19年3月期 (百万円) 前年比	20年3月期 (百万円) 前年比	21年3月期(予) (百万円) 前年比	株価(9/3)	28,180 円
売上高	1,278,240 13.0%	1,127,286 -11.8%	1,280,000 13.5%	業種	電気機器
営業利益	310,571 10.5%	237,292 -23.6%	275,000 15.9%	売買単位	100 株
経常利益	321,662 14.6%	244,979 -23.8%	275,000 12.3%	PER(予想)	21.4 倍
当期純利益	248,228 21.5%	185,206 -25.4%	205,000 10.7%	PBR(実績)	5.2 倍
EPS(円)	1,513.6	1,170.6	1,318.1	ROE(実績)	21.8 %
配当金(円)	758.0	588.0	660	配当利回り(予想)	2.3 %
				担当	松本 直志

出所：業績に関する数値は決算短信、決算説明資料より

シリコンウエハ上に回路の基になる薄膜を形成する成膜装置や、露光の前後で薄膜上に感光材を塗布/除去するコータ/デベロッパ、薄膜を削るエッチング装置、ウエハを洗浄する洗浄装置など様々な半導体製造装置を展開。19年度の装置別売上高構成比はエッチング装置37%、コータ/デベロッパ26%、成膜装置20%、洗浄装置10%、その他7%。

20年度1Q決算は前年同期比45.5%増収、73.6%営業増益。メモリ投資の回復を受けてエッチング装置などの販売が拡大。2Qに売上計上予定の半導体製造装置も、大方出荷済み。販売管理費の一部で、2Q以降へずれた案件もあり大幅増益となった。半導体製造装置の用途別増収率は、NAND向けが前年同期比183.2%増収、DRAM向けが69.9%増収と大幅に増加。韓国のサムスンや中国の地場メーカーなどがメモリ投資を積極化させたことで、韓国向け売上は前年同期比81.6%増、中国向けが173.7%増と大きく拡大。中国は今のところNANDメモリ中心の引き合いになっているが、中国最大のファウンドリSMICが20年の設備投資計画を43億ドルから67億ドルへ増額するなど、国家主導で半導体の増産投資を積極化させており、年後半はファウンドリ向け設備投資の拡大が期待される。

スマートフォン需要の減速や在庫確保の一服により、DRAM向け投資は減速する見込みだが、半導体の性能が企業の競争力を左右するため、データセンター向けNANDやCPU、GPUなど高性能半導体への需要は旺盛に推移することが見込まれる。EUVではコータ/デベロッパで量産シェア100%を保有。洗浄、エッチング、成膜でも装置を提供しており、微細化進展に伴う使用機会の増加やDRAMへの適用開始など、EUV市場の拡大は追い風。EUVや3D化、高速化など技術革新をサポートする新規装置の開発を進めることで、今後も業績拡大が続くものと思われる。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(9/3)	コメント
三菱ケミカルHD (4188) 東証1部 621.8円	会社側は期初時点では1Qのコア営業利益は在庫評価の影響が大きく赤字を想定するとしていたが、着地は150億円の黒字。自動車関連の大幅な落ち込み、MMA市況の改善遅れ、薬価改定などが収益を圧迫したが、ディスプレイ、半導体関連のユーザーが貿易摩擦などに起因するサプライチェーンリスクを意識して在庫積み増しを図ったとしており、想定以上に好調だったとしている。業績修正は行っていないが、上期のコア営業利益は250億円計画に対して300億円弱の着地になる見込みとしている。(多功 毅)
日本新薬 (4516) 東証1部 8,670円	2021年3月期1Qは、血液ガン治療薬の「ビダーザ」が新型コロナの影響を受けたが、自社創薬の肺動脈性肺高血圧症治療剤「ウプトラビ」の海外売上に伴うロイヤリティ収入の伸長等により、増収増益となった。また国内では、5月20日から発売されたデュシェンヌ型筋ジストロフィー治療剤「ビルテプソ」が病院で順調に採用されており、投与待ちの患者の数も多く確認していると説明。同薬は米国では8月12日に承認。2Q以降も「ウプトラビ」の海外の販売の好調は継続すると思われ、新薬の「ビルテプソ」の動向が注目される。(志田 憲太郎)
ロート製薬 (4527) 東証1部 3,480円	新型コロナによる外出自粛の影響で、日焼け止めやリップクリーム、コンタクト関連などが減収したことに加え、インバウンド需要も低迷した。一方で、美容液などの高付加価値商品が伸び、また前期に連結子会社になった日本点眼薬研究所など子会社も好調で2021年3月期1Qは売上が前年同月比7.8%減だったものの営業利益が同0.47%増となった。構造改革によりコロナ禍で売上を大幅に減らすこともなく、増益を確保した。(志田 憲太郎)
ミネベアミツミ (6479) 東証1部 1,887円	1Q決算はLEDバックライト、ミツミのゲーム機向け事業などが好調に推移したが、自動車や航空機の減産の影響が大きく売上高は前年比8.3%減収となる1,875億円。営業利益は61.4%増益の54億円で着地。ただし、前年同期についてはユーシン統合関連費用など一過性費用があったため、実質的には約27%の営業減益。通期は、売上高10,000億円(2.2%増収)~9,000億円(8.0%減収)、営業利益600億円(2.3%増益)~500億円(14.7%減益)とする従来計画を据え置き。(多功 毅)
アルバック (6728) 東証1部 3,810円	20年6月期決算は前年同期比16.0%減収、33.0%営業減益。FPDの設備投資減少により減収減益になったが、メモリ投資の回復やロジック向けスパッタ装置の需要が増えた半導体製造装置部門とコスト削減が貢献し、会社計画は上振れ達成。今期は前年同期比11.0%減収、6.0%営業減益、受注は15.0%増の計画。FPD向けの苦戦により減収減益計画だが、EUV工程への参入に成功したスパッタ装置のシェアアップやメモリ投資の回復などにより、受注増を狙う方針。(松本 直志)
レーザーテック (6920) 東証1部 8,050円	EUV向け検査装置が伸び、20年6月期決算は前年同期比48.0%増収、89.7%営業増益となり、売上、利益ともに過去最高を更新。今期は前年同期比33.9%増収、12.9%営業増益計画。研究開発費の増加、人員増などで利益の伸びは慎重に想定している。EUVは従来工法に比べてマスクが汚れるのが早いため、検査装置に対する需要が旺盛。半導体の性能向上のため、EUVを活用する機会が増えるものと思われ、今後もEUV向け検査装置の需要拡大が見込まれる。(松本 直志)

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巣鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巣鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第190号
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大1.1990%（ただし約定代金230,000円以下の場合は最大2,750円）の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室